



甲信越の景況は、住宅建築が弱含んだものの、設備投資が持ち直し、生産活動が上向くなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。設備投資は、製造業で工場新設投資や情報化投資、非製造業で情報化・省力化・合理化投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等が減少したものの、県、市町村が増加するなど、上向き。輸出は、紙類、プラスチック、鉄鋼が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、金属製品、電気機械、情報通信機械が増加するなど、上向き。観光は、外国人客が増加したものの、台風や猛暑の影響により国内客が伸び悩むなど、横這い。雇用は、情報通信業や卸売業・小売業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準を維持するなど、改善傾向。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢